

# 横浜市山内図書館 平成24年度事業計画書

指定管理者名 有隣堂グループ

## 1 施設の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造・規模	鉄筋コンクリート造3階建（図書館部分：2階）
延床面積	2,147平方メートル

## 2 指定管理者

法人名	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町881-16
代表者	株式会社 有隣堂 松信 裕
指定期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日
主な受託実績	株式会社 有隣堂 指定管理者実績：大田区立大森東図書館、綾瀬市立図書館 横浜市市沢地区センター・港南台地区センター・永谷地区センター 業務委託実績：横浜市都筑・戸塚図書館、東戸塚駅・二俣川駅 行政サービスコーナー内図書取次カウンター、 川崎市立麻生・多摩・高津図書館、厚木市中央 図書館、大磯町立図書館、小田原市学校支援(36 校) 大田区学校支援(4校)  三洋装備 株式会社 指定管理者実績：小山市民文化センター・小山中央公民館 業務委託実績：横浜市美しが丘西地区センター(他32か所)  平成24年3月現在

## 3 指定管理業務の方針

### (1) 基本方針

指定期間中の基本方針は、指定期間の5年間を通して次のとおりです。

山内図書館の図書館基本業務の確実な継承・維持・強化とサービスの増加により、市民の生活や活動の支援・応援を行い、身近で親しみやすい生活密着図書館となることを目指します。山内図書館のサービスの基本方針は以下の3つです。

#### ① 地域情報拠点機能の強化

地域の実情を研究し、必要とされる情報の収集と利用者満足度の高い提供方法を検討・実施していきます。

#### ② 課題解決支援機能の強化

生活情報へのアクセシビリティを高め、「ここにくればわかる」図書館を目指すとともに、自助自立の精神をもって市民の情報リテラシー向上を支援します。

### ③ 地域の特色に合わせた個性ある地域図書館

利用者会議「山内図書館利用者フォーラム」からの意見をはじめ、地域で活動するボランティアや企業も含めた団体などから地域の方々の声を運営へ反映させます。また、自主企画事業での連携企画やボランティア団体や子どもの図書館活動への参加機会創出など、市民の活動の場を提供します。

## (2) 平成24年度の指定管理業務の位置づけ

有隣堂グループは、指定管理者として指定期間である5年間を、階段を一段ずつ登るようにステップアップしていきます。

22年度は、それまで山内図書館が築き上げた図書館サービスを継承するための基盤を整備しました。

23年度は、次の階段を上るために、22年度で捉えたニーズを基に利用者の利便性を追求しました。利用者へ向けた新しいサービスとしては、「まっぴい 青葉の街」と連携した『青葉区いろはカルタ』ホームページ版の作成や青葉区学校図書館カルテの作成などを展開しました。

また、利用者フォーラムにより、地域の声をより広く聞くことができたので、今後のサービスへつないでいきます。

24年度は、さらに次の階段を上るために23年度で実施したサービスをより追求するとともに、開館35周年を迎える節目の年として、自主企画事業を初め「地域と共に歩み続ける山内図書館」運営の実現に向けてサービスを充実させてまいります。また、『平成22年度横浜市山内図書館指定管理者評価報告書』における指摘事項を受け、24年度の運営に反映していきます。

## (3) 平成24年度の重点目標

### ① 地域との連携のさらなる推進

地域で活躍している団体の声を反映し、地域に根ざした広報活動や連携事業を行う上でボランティア団体、市民活動団体など地域で活躍している団体との協働を進め、連携を強くしていきます。

- ・23年度の「山内図書館利用者フォーラム」は7月と12月の2回開催しました。東日本大震災時の対応を基にした図書館からの情報発信のあり方や、山内図書館の運営及び子どもを対象とした広報などについての具体的で有用なご意見を多数いただくことができました。24年度もこのような地域ならではのご意見を積極的に伺いながら自主企画事業やサービスに反映していきます。
- ・山内図書館35周年事業を展開する上では、22～23年度に協働した郷土史家、青葉紙芝居一座などのボランティア団体、「まっぴい 青葉の街」等の市民活動団体に加え、「東急多摩田園都市まちづくり館」等の企業とも連携し協働を進めます。
- ・青葉区の地域で主催している郷土関連講座への積極的な参加等により、地域で活躍する郷土史家やボランティア団体、市民活動団体に新たな連携機関の協力を仰いでいきます。
- ・郷土資料は、区内の施設や団体、企業と連携を図り、幅広い収集に努め、地域

情報のポータルサイトとして最新の地域情報を提供します。

- ・ホームページの地域情報コンテンツのアップデートを迅速に行い、最新の地域情報を提供していきます。既成のコンテンツには内容の見直しをかけるとともに、郷土資料の調べ方を利用者にわかりやすく提供するために、パスファインダー（特定のテーマに関する書籍、情報の探し方・調べ方の案内）の新規コンテンツも開発していきます。
- ・23年度から地域のおはなしボランティアの発表の場として開催しているおはなしまつりを24年度も開催します。このおはなしまつりでは一日中紙芝居や絵本の読み聞かせなどのおはなし会を行うとともに、地域の福祉施設と連携してパンやお菓子の販売も行います。

## ② 学校図書館との連携と支援

山内図書館は、「横浜市立図書館学校連携事業『学校支援計画』」に基づき積極的に学校図書館との連携・支援を進めてきました。

- ・22・23年度の2年間にて、区内小学校30校、中学校12校に対し、小学校全校および中学校8校を訪問しました。  
24年度は、未訪問の中学校4校を訪問し、青葉区小中学校全校への学校訪問とサービスを実施していきます。
  - ・23年度の学校訪問の成果として、学校図書館の現状把握を記載した運営カルテを作成し、訪問記録・図書整理法の分類・図書記号などを蓄積し、学校図書館の書架等の衣替えや分類・図書記号の基本的なありかたなどの相談やアドバイスの要求に対応してきました。  
24年度もこのカルテを利用して的確な相談を受けられる体制を維持していきます。
  - ・23年度は支援のために、学校図書館で必要とされるテーマである「小学校での読み聞かせ講座」及び「学校図書館ボランティア講座～修理のための製本講座」を内容とした講座を開催しました。さらに、広く参加してもらえるよう複数の会場で実施しました。  
24年度はさらに充実を目指し、ボランティアを対象とした講座と共に、教員と共に受けられるような内容と夜間や土・日曜日および休日の日時を考慮した講座にしていきます。
  - ・学校図書ボランティアからの相談やボランティア同士の交流の場として、「学校図書ボランティア相談日」を5回開催し、毎回テーマを設定し、ステップアップを目的とした環境を作り、まとめとして、「学校図書館環境整備ボランティア～活動の展示～」と交流会を開催しました。
- 24年度も同じ事業展開を実施します。
- ・24年度の新しい事業展開として、学校図書館へ山内図書館としての新刊本・図書整理に関する情報、学校図書館運営の参考例等の最新情報や書店としての有隣堂ノウハウである出版情報や書籍情報等をホームページ、メールマガジンで、タイムリーに届けられる体制を整えていきます。

## ③ 図書館広報活動の強化

- ・ホームページに「キッズページ」を新設し、おはなし会や子ども向けイベント

の案内など親子に向けた図書館情報をよりわかりやすくお届けします。キッズページでは事業の案内や参加レポートを掲載することで、子供向け事業のPRと参加の促進に努めます。

- ・ 23年度同様、iPadに代表されるタブレット型コンピュータの新しい媒体を利用して、地域の民話をもとにした紙芝居の紹介や著名人による本の紹介を行い、コンテンツを増加してさらに地域情報発信拠点の役割を担います。
- ・ 電子広報媒体の位置づけを整理し、新着ニュースはホームページ及びメールマガジンで、イベントの様子はブログで、地域情報はiPadで掲載するなど、電子機器の性格を利用して効果的に山内図書館の存在や活用法をPRしていきます。
- ・ 23年度に引き続き地域のラジオ局であるFMサルースの番組に地域のボランティア団体とともに出演、本の紹介を行うとともに、ブログやメールマガジンにおいて話題の本や司書による本の紹介をすることで、読書推進につなげます。
- ・ 点在している館内の掲示物を集約し、より分かりやすい館内案内へと見直します。図書館のイベント案内やお知らせは出入り口付近へ配置し、山内図書館独自のサービスをまとめて掲示します。山内図書館の活用法の周知に努めます。
- ・ 23年度に好評だった新聞の折込チラシを24年度も採用することで地域に密着した広報を行い効果的なPRを進めていきます。

#### ④ 市民の課題解決のための事業展開

- ・ 利用者がセルフファレンスをスムーズに行える環境を作ります。土日等のカウンターが混雑する時間帯にはフロアに案内係をおき、図書館の利用方法や館内案内、本探しのお手伝い、検索機の使い方など、利用者の目的に沿った案内を行います。また、レファレンス専用デスク「やまうちよろず相談処」を積極的に紹介し、図書館のレファレンス機能の広報と利用促進に努めます。
- ・ 青葉区は全国平均寿命トップ10に入る高齢者地域であると同時に、多くの子育て世代が転入してくる地域でもあります。そこで、24年度は新たにシニア世代支援講座や、著名人による「老いを楽しむ」をテーマにした講演会を開催します。また、子育て世代に向けては、子どもとふれあうおはなし講座「おはなしごっこ012」を継続して開催する等、地域の特性や世代・ライフスタイルに応じた課題解決支援となる自主企画事業を実施します。
- ・ 昨年度に引き続き、「聞蔵Ⅱビジュアル」「日経テレコン21」「官報情報検索サービス」「法情報総合データベース」「ポプラディアネット」の商用データベースを用いた情報提供を行い、利用者支援に繋がります。特に子ども向けのインターネット百科事典「ポプラディアネット」は、調べ学習のサポートとして開催する自主企画事業「小学生調べ方講座」で活用方法を解説します。

## 4 各種業務計画

### (1) 自主企画事業

別紙1「平成24年度自主企画事業年間計画」による。

### (2) 学校連携事業

別紙2「平成24年度山内図書館小・中学校支援年間計画」による。

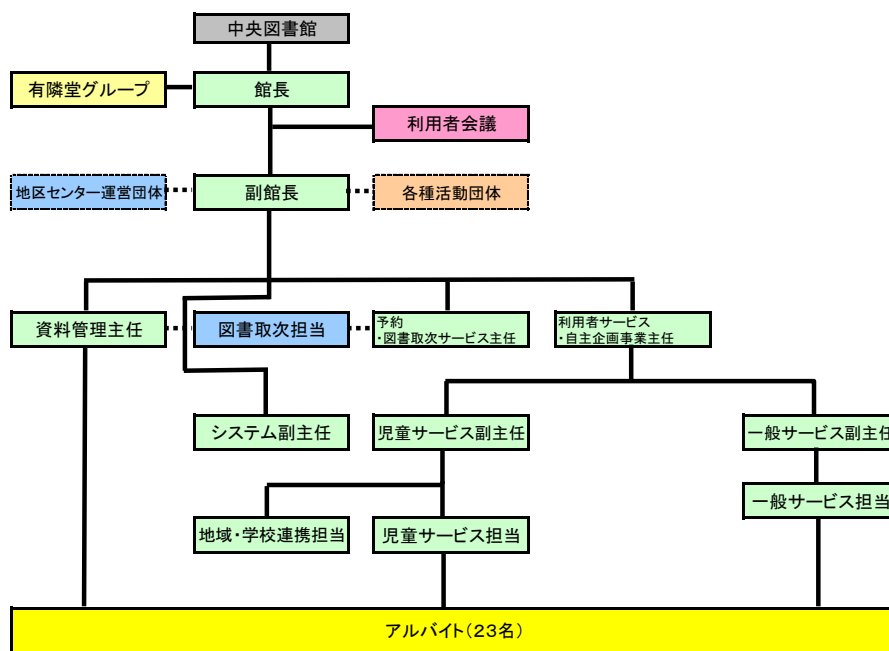
(3) その他の事業

- ・ミニミニショップ「山内堂」では、23年度にはらぺこあおむし等の絵本キャラクター文房具や交通安全に役立つ反射板キーホルダーなどを販売し好評を得ました。24年度はこれまでの経験を活かし、地域の著名人の出版物の販売などさらに商品のラインナップを検証、改善し、利便性の向上を図ります。
- ・障害者サービスの利便性を図るため、デイジーを設置し、対面朗読の利用者が朗読だけでなくデジタル資料を利用できる環境を整えます。

5 施設運営及び管理に関する計画

(1) 人員配置及び研修

[組織図]



[研修]

	対象	備考	回数／年
個人情報保護研修	職員・アルバイト全員	個人情報の取扱、注意事項などの研修	2
コンプライアンス研修	職員・アルバイト全員	法令遵守のための研修	1
消防訓練	職員・アルバイト全員	通報、初期消火、避難誘導など	2
危機管理研修	職員・アルバイト全員	危機管理	1
児童サービス	児童サービス担当	外部の講座の受講など	1
障害者サービス	障害者サービス担当	外部の講座の受講など	1
レファレンスサービス	職員	外部の講座の受講など	1
自主企画事業	自主企画事業担当	外部の講座の受講など	1
情報機器研修	システム担当	外部の講座の受講など	1
郷土資料研修	資料担当	外部の講座の受講など	1

## (2) 施設の保守・管理

業務内容	達成指標
建築・設備の保守管理	業務水準通り適切に維持管理を行います。
警備業務	防犯、安全管理のため、警備会社に委託し、夜間等保安警備業務を行います。
清掃・環境衛生管理	業務水準通り適切に維持管理を行います。 トイレの仕上げ、巡回清掃に重点をおき、美観を保持します。

## (3) ニーズの把握、情報公開

### ① ニーズの把握

23年度に引き続き、カウンターでの利用者からの口頭でのご意見、意見箱からの利用者の声や、イベント時でのアンケートなどから利用者ニーズを把握していますが、加えて山内図書館利用者フォーラムや団体利用者などから意見を聞く機会を設けニーズを把握します。

### ② 個人情報保護・情報公開

「個人情報の保護に関する法律」、「横浜市個人情報の保護に関する条例」ほかの法令を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努めるとともに、「横浜市山内図書館情報公開規程」に基づき、情報公開についての適切な対応に努めます。

## (4) 危機管理

- ・危機管理マニュアルに基づき、図書館に起こりうる危機（災害・事故・犯罪・迷惑行為等）に備えた教育・研修を実施します。東日本大震災を受け、特に、地震発生時の配置（参集）や行うべき業務を再確認し、確実に実施できるようにします。また、連絡体制についても、緊急連絡網により中央図書館・本部への連絡を徹底します。
- ・防災計画に基づき、年2回の防災訓練を実施します。24年度は、隣接する地区センターや市・区・警察署・消防署などとの連携を確認し、いざという時に備える体制を強化します。
- ・警備については、23年度に引き続きスタッフによる巡回を行い、利用者の安心感を高めます。

## (5) 自己評価

22・23年度に実施したセルフモニタリングの項目と同じ項目で、24年度も評価します。その内容を、職員全員と共同企業体構成企業による「セルフモニタリング会議」を開催、自己評価を行い、今後の方向性を話し合い、25年度の事業に反映させます。また、「セルフモニタリング報告書」は、市及び「山内図書館利用者フォーラム」に報告後、ホームページ等で公表します。

## 6 収支予算計画

(円)

項目		予算額
収入	指定管理料	168,575,000
	事業収入	160,000
	その他の収入	300,000
	合計	169,035,000
支出	人件費 給与・賃金・通勤費・法定福利費	71,000,000
	管理費	55,322,000
	光熱水費	20,158,000
	施設・設備の保守管理料	18,876,000
	清掃・衛生管理費	9,797,000
	施設維持消耗品	3,191,000
	通信・回線利用料	1,000,000
	修繕費	2,300,000
	事業費	10,831,000
	自主企画事業費	4,521,000
	図書取次サービス事業費	6,310,000
	事務費	31,882,000
	LAN 環境整備・運営費	1,882,000
	公租公課	5,000,000
	本社経費	24,000,000
その他の経費(旅費、備品、印刷製本等)	1,000,000	
合計	169,035,000	

平成24年度自主企画事業年間計画表

(別紙1)

平成23年度自主企画事業の振り返り

- ・地域団体やボランティアとの連携を深め、新たな事業を実施できた。特に夏休み期間の「夏のおはなし祭り」は、1日で延べ560人の参加があり好評だった。また「まっぴい青葉の街」「あおば紙芝居一座」や郷土史家と連携した展示・講座等も定期的実施し、市民への地域情報発信に努めた。
- ・「父親の子育て」をテーマにした講演や横浜市立大学と連携した文学・数学・医療講座を開催するなど、地域住民のニーズを捉えた事業を実施した。
- ・区民が集まるイベントへの参加や新聞折込広告等の広報で、未利用者に向けて山内図書館の特色をPRし、利用促進をはかった。

平成24年度自主企画事業実施方針

- ・開館35周年にあたる24年度は、年間にわたり自主企画事業を通して「地域と共に歩み続ける山内図書館」を広く市民にPRする。記念事業としては、郷土資料を中心とした展示、区内図書貸出施設マップのリニューアル、著名人による講演会等を実施予定。
- ・地域団体やボランティア、市内の大学等との連携事業を引き続き実施し、地域の情報拠点としての役割をさらに強化していく。
- ・地域の特性をふまえ、世代やライフスタイルに応じた課題解決支援となる事業を実施する。

実施予定事業月別一覧

月	事業名	記者発表の有無	ミニコミへの情報提供の有無	備考
4月	【企画展示】開館35周年記念～35年前、読み継がれる絵本たち(4月～5月)	有	有	
	【企画展示】新学期、よんでみようこんな本!(4～5月)	無	有	
	開館35周年記念～やまちゃんスタンプカード	有	有	
	開館35周年記念～読書クロスワードに挑戦!!	有	有	
5月	子ども読書週間おはなし会(C)	無	有	
	【巡回展示】横浜開港見聞誌(5～6月)	無	有	中央図書館パネル展示
	あおば探訪① 親子で楽しむ郷土の紙芝居(春)	無	有	協力:あおば紙芝居一座
6月	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会①(B)	無	有	
7月	【企画展示】開館35周年記念～山内図書館のあゆみ(7月～9月)	有	有	
	【企画展示】夏休み、よんでみようこんな本!(7月～8月)	無	有	
	やまちゃんキッズクラブ① 小学生のための調べ方講座	無	有	
8月	夏のおはなし祭り(B)	無	有	
	小学生夏休み1日図書館員	無	有	
9月	【企画展示】青葉区の獅子舞(9月～10月)	無	有	
	文学講座「源氏物語」(全5回)	無	有	共催:横浜市立大学エクステンションセンター
	「終活」講演会・相談会 開館35周年記念～著名人講演会	無 有	有 有	共催:神奈川県行政書士会
10月	【企画展示】開館35周年記念～青葉区内図書貸出施設マップ(リニューアル)(10～12月)	有	有	
	あおば探訪② 青葉区の獅子舞	無	有	
	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会②(B) 親子で楽しむ郷土の紙芝居(秋)	無	有	協力:あおば紙芝居一座
11月	はまっ子読書の日おはなし会(C)	無	有	
	【事業協力】山内地区センターまつり 本の病院(修理ボランティア活動紹介)	無	有	
	【事業協力】青葉おはなしフェスティバル2012	無	有	
	【事業協力】区民交流センターまつり 図書館ブース出展	無	有	
12月	【企画展示】青葉いろはカルタ(12月～1月)	無	有	協力:まっぴい青葉の街
	やまちゃんキッズクラブ②	無	有	
	小中学校読書ボランティアステップアップ講座	無	有	北部方面4館共催・全4回



1月	青葉いろはカルタ大会	無	有	協力：まっぴい青葉の街
	親子で楽しむ郷土の紙芝居（冬）	無	有	協力：あおは紙芝居一座
2月	「ひと裁ち折り」の紙遊び	無	有	
	空とぶじゅうたん 大人のためのおはなし会③（B）	無	有	
3月	【企画展示】青葉区の桜	無	有	
	やまちゃんキッズクラブ③	無	有	
	あおば探訪③	無	有	

定例おはなし会（定例おはなし会、親子おはなし会、福祉保健センター連携事業等）

おはなし会A（職員によるおはなし会）		
事業名	対象	日時
おはなし会B（ボランティアによるおはなし会）		
事業名・団体名	対象	日時
おはなし会C（ボランティアと職員による協働おはなし会）		
事業名・団体名	対象	日時
空とぶじゅうたん絵本と語りおはなし会	3歳以上 1人でおはなしを聞ける子	毎月第2・4水曜日 15:30～16:00
空とぶじゅうたん絵本と語り親子おはなし会	1歳以上の子どもと保護者	毎月第2・4金曜日 ①11:00～11:20 ②11:30～11:50

その他の定例的な事業

事業名	対象	日時
こどもを育てるあそびとおはなし！ “おはなしごっこ012”	0. 1. 2歳児と保護者	毎月第4木曜日 10:30～11:45

平成24年度 山内図書館 小・中学校 支援年間計画

(別紙2)

		学校行事	図書館の児童関係の主な行事	来館支援			訪問支援	ボランティア支援	教員支援・研修会	
				図書館見学 インタビュー	来館調べ学習	職業体験	教職員貸出	学校訪問 ネットワーク推進・ネットワーク推進 モデル校訪問 図書館環境整備相談訪問 ブックトーク・読み聞かせ ボランティア活動相談	山内学校連携 講習会 ボランティア活動相談 学校連携展示	青葉区図書研究会 教職員向け講習 横浜市研修会へ参加 ボランティア研修会(他団体)
4月	上	入学式						継続校・ネットワーク推進校訪問		
	中							中学校学校図書館訪問	読書コーディネーター交流会参加	
	下			○	○			中学校学校図書館訪問		
5月	上		子ども読書週間おはなし会	○				◎ネットワーク推進校、継続校巡回		学校支援プログラムを活用した山内図書館学校連携担当業務のPR
	中		親子で楽しむ郷土の紙芝居(春)	○				◎	◎ボランティア活動相談日①	
	下			○				○	◎図書整理・修理のための製本講座①開催:地区センター(全3回)	
6月	上			○	○			○訪問修理講習		中学校図書部会総会へ参加
	中		蔵書点検	○	○			○	読み聞かせ講座①初級編 山内図書館	
	下			○	○			○		学校連携担当者会議
7月	上		やまちゃんキッズクラブ①	○				◎ネットワーク推進校、継続校他	◎ボランティア活動相談日②	学校図書館教育研究会へ参加
	中		小学生のための調べ方講座	○				◎	◎図書整理・修理のための製本講座②開催:山内図書館(夜間)全2回	青葉学校支援ネットワーク研修会講師 ◎図書整理・修理のための製本講座②開催:山内図書館(夜間)全2回
	下					○		○		学校図書館教育研究会講師
8月	上	夏休み	小学生夏休み1日図書員			○				
	中		夏のおはなし祭り			○				
	下					○		◎		
9月	上			○				◎		
	中			○				◎		
	下			○	○			○	読み聞かせ講座②ステップアップ編 山内図書館	
10月	上	運動会				○		○	整理・修理のための製本講座③ 地区センター全3回	
	中		親子で楽しむ郷土の紙芝居(秋)			○		○	◎ボランティア活動相談日④	
	下		はまっ子読書の日おはなし会	○	○			○		
11月	上	はまっ子読書の日						◎訪問ブックトーク		
	中			○	○			◎訪問読み聞かせ	◎ボランティア活動相談日⑤	
	下			○	○			◎		
12月	上		やまちゃんキッズクラブ②	○				○	北部ボランティア講座4回	
	中			○				○		青葉区小中学校合同情報交換会参加
	下	冬休み								横浜市学校図書館研修会参加
1月	上							○		
	中		親子で楽しむ郷土の紙芝居(冬)			○	○	○		
	下					○		○	◎ボランティア活動相談日⑥	推進校報告会へ参加
2月	上		「ひと裁ちおり」の紙遊び	○	○	◎		○	読み聞かせ講座③ステップアップ編 山内図書館	
	中			○	○	◎		○	ボランティア交流会	
	下			○				○	* 学校図書館向け参考事例の紹介 展示	
3月	上		やまちゃんキッズクラブ③	○				◎H24年度訪問実施校へ事業報告書提出		
	中	卒業式						○		
	下	春休み						◎蔵書相談		

随時受付◎

※◎は特に頻度が高く、重点を置く時期 ○は比較的頻度が高い時期